



青森県基本計画

「選ばれる青森」
への挑戦

支え合い、共に生きる

令和5年度（2023）

要覧



青森県総合学校教育センター
AOMORI PREFECTURAL SCHOOL EDUCATION CENTER



青森県総合学校教育センター
イメージキャラクター
「アプセくん」

CONTENTS

I	設置目的・運営方針	1
II	業務の概要	2
1	研修に関すること	2
2	研究に関すること	3
3	教育相談に関すること	4
4	資料・情報の収集・提供に関すること	4
5	学校等の支援に関すること	5
6	情報化の推進に関すること	6
7	広報に関すること	7
III	組織機構	8
IV	施設の概要	9
V	沿 革	11

I 設置目的・運営方針

1 設置目的

青森県総合学校教育センターは、設置条例に基づき、学校教育の充実振興を図るため、次の業務を行います。

- (1) 学校教育に関する教育関係職員の研修に関すること
- (2) 学校教育に関する専門的、技術的事項の研究に関すること
- (3) 教育相談に関すること
- (4) 学校教育に関する資料及び情報の収集及び提供に関すること
- (5) その他学校教育の充実振興上必要なこと

2 運営方針

青森県総合学校教育センターは、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

II 業務の概要

1 研修に関すること

- 「“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上」を目指し、次のように研修講座を開催します。
- 講座の目標を明確にし、演習、協議等を重視した主体的に参加できる研修を提供します。
 - 令和の日本型学校教育の実現及び学校における働き方改革の推進を踏まえ、ICT等の効果的な活用に向けた研修を提供します。
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指した内容を提供します。
 - 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。

(1) センター研修概要

指標の観点※/キャリアステージ/職			採用前 臨時講師等	形成期 初任から概ね採用5年目まで	向上・発展期 概ね採用6年目から15年目まで	充実期 概ね採用16年目以降	校長及び教頭
人間力	指導力	マネジメント力	研修講座				
			A 基本研修	58講座	初任研・新採研 フォローアップ研 中堅教諭等資質向上前期研修講座 ※採用5～7年目のうちいずれかの1年間で受講する	中堅教諭等資質向上後期研修講座 ※採用12～15年目のうちいずれかの1年間で受講する	
			B 職務研修	I 17講座 臨時講師等の研修 ※C・Dの講座も受講可	新任主任等に関する研修講座		新任管理職に関する研修講座
				II	職務に関する研修講座 主任等に関する研修講座		
			C 教科研修	52講座	教科教育に関する研修講座		
			D 教科外研修	35講座	領域等に関する研修講座 生徒指導・教育相談に関する研修講座 特別支援教育に関する研修講座 情報教育に関する研修講座		

(2) 研修区分別内訳 [令和5年度講座数] (令和4年度講座数：延べ修了者数)

全 体	[162講座]	(157講座：3,588人)
基本研修	[58講座]	(57講座：1,701人)
初任者研修	[24講座]	(24講座：830人)
新規採用者研修	[10講座]	(10講座： 44人)
フォローアップ（2年次）研修	[5講座]	(5講座：168人)
中堅前期研修、中堅前期・後期研修	[10講座]	(10講座：317人)
中堅後期研修	[9講座]	(8講座：342人、1講座：実施なし)
職務研修	[17講座]	(17講座： 531人)
専門研修	[87講座]	(83講座：1,356人)

(3) 学校種別内訳 (令和4年度延べ修了者数)

全 体	3,588人	中学校（公立）	755人
小学校（公立）	927人	特別支援学校（県立）	767人
高等学校（県立）	1,085人		
その他	54人		

2 研究に関すること

本県学校教育の諸課題について調査研究を行い、その成果を公表及び提供します。
 ○学校への還元を第一とし、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究を行います。
 ○学校での活用を進めるため、研究報告書、実践の手引き、指導資料等を作成して学校に提供します。
 ○研究成果や研究過程を、Webページ上へ掲載し、広く県民に理解いただくとともに、全国に向け発信します。
 研究では、研究員による個人研究のほか、本県学校教育の課題解決や学校支援に資する実践的・先導的な研究として、「学校におけるＩＣＴの効果的な利活用」をテーマとして、全指導主事が研究にあたるセンター研究を推進しています。令和５年度からは、第Ⅱ期としての研究を進めます。

センター研究 第Ⅰ期（令和３年度～令和４年度）の取組

グループ名	おもな研究内容
国語	国語科の学習指導におけるＩＣＴの効果的な利活用に関する研究
社会、地理歴史、公民	１人１台端末を活用した社会的事象等について調べまとめる技能を育む社会科・地理歴史科・公民科の授業開発研究
算数、数学	小中高の学びを体系的に考えるＩＣＴを活用した算数・数学科教育の研究
理科、物理、化学、生物、地学	ＩＣＴを活用した理科、物理、化学、生物、地学の授業づくり
音楽、図画工作、美術	ＩＣＴを活用した音楽、図画工作、美術科の授業づくり
体育、保健体育	体育科、保健体育科の学習指導における１人１台端末の活用
家庭、技術・家庭	家庭、技術・家庭科の指導におけるＩＣＴ活用に関する研究
外国語	オンライン／対面授業の長所を取り入れたハイブリッドな学びとその評価方法について
特別活動	小・中学校特別活動の学級活動における、情報端末を用いた指導に関する研究
特別支援教育	特別な支援を要する児童生徒への機能代替アプローチによるＩＣＴ活用の理解啓発に関する研究

令和５年度研究成果の発表

あおもり教育研究発表会2023
 期 日 令和５年10月27日(金)
 テーマ 「未来につなぐ青森の教育」

3 教育相談に関すること

県内の学校、本人や保護者の教育相談に応じます。

○相談者の悩みや相談を一緒になって考えます。

○学校や各市町村教育委員会、医療や福祉などの関係機関と連携して相談を行います。

(1) 教育相談課

主 な 相 談 内 容	対 象	方 法
○子供の教育全般に関すること ・いじめや不登校に関すること ・学業や進路に関すること ・性格や行動に関すること など	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9：00～17：00 (電話は8：30～) 月1回 土曜日 9：00～12：00
こころの教育相談センター（適応指導教室）		開室時間
○不登校状態にある県内全域の児童・生徒（小中高校生対象）に対し、適切な指導および支援を行い、子供の社会的自立を目的とする ・本人や保護者、教職員との面接相談により、不安や悩みの解消のための支援をします。 ・体験的な活動、望ましい集団活動により、社会的自立のための支援をします。 ・学習習慣の定着と学習意欲の向上のための支援をします。 ・学校復帰へのステップを本人とともに、家庭、学校と連携しながら考えます。		月・火・木曜日 10：00～14：45 金曜日 10：00～12：00 *水曜日はチャレンジ日 *長期休業中（夏休み・冬休み）は休みとなります

(2) 特別支援教育課

主 な 相 談 内 容	対 象	方 法
○特別支援教育に関すること ・園や学校・家庭での過ごし方に関すること ・学習のつまずきに関すること ・進路に関すること ・コミュニケーションに関すること ・見えや聞こえに関すること など	幼児、児童生徒 保護者及び教職員	毎週 月～金曜日 9：00～17：00 月1回 土曜日 9：00～17：00

【資料】相談件数（令和4年度）

	相 談 件 数 (件)	電 話 (件)	来 所 (件)
2,798	①教育相談課 2,614	1,465	1,149
	②特別支援教育課 184	82	102

4 資料・情報の収集・提供に関すること

学校教育に関する図書、視聴覚教材、その他必要な教育資料等を収集・整理し、提供します。

○教育に関する図書資料等を収集・整理し、研修・研究等に活用できるように提供します。

○図書資料室の利便性確保と環境整備を行います。

原則として、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教職員の方々に御利用いただけます。利用時間は、平日の9：00～17：00です。

【令和4年度の図書資料等】

	図 書	視聴覚教材	そ の 他
令和4年度収集	163冊	2本	・各教科や道徳、生徒指導等学校教育に関する38種の定期刊行物 ・全国の教育センターや大学等の研究紀要をはじめとする教育資料 (4,068冊)
累 計	20,673冊	427本	

5 学校等の支援に関すること

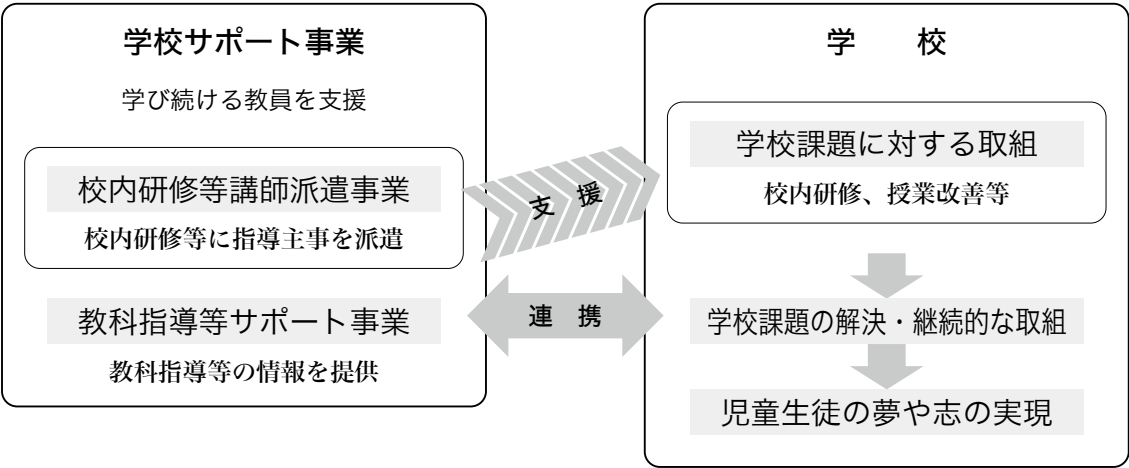
教育活動の充実のために、学校等が必要とする事業を展開し、教員をサポートします。

○校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援します。

○教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートします。



【校内研修等講師派遣事業のテーマ例】

学習指導 ◆授業力向上と授業改善 ◆授業におけるICT活用 ◆授業のユニバーサルデザイン化 ◆学習状況調査の活用方法	生徒指導・教育相談 ◇児童生徒理解のための調査法の活用 （「アセス」や「Q-U」の理解と活用） ◇人間関係づくり （グループアプローチ中心に） ◇面接相談の進め方 （教育カウンセリングの基本） ◇ストレスマネジメント ◇いじめへの対応 ◇不登校への対応 ◇保護者への対応 ◇情報モラルの指導 ◇SOSの出し方教育
特別支援教育 ◎特別な配慮を必要とする児童生徒への支援 ◎個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成 ◎障害特性に応じた指導	

【令和4年度の実績】

事業名	件数
校内研修等講師派遣事業	193件
教科指導等サポート事業	26件

6 情報化の推進に関すること

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークの技術支援を行います。

- わかりやすい授業の実現に向けたICT活用を支援します。
- 授業に役立つ教育情報を提供します。
- 青森県教育ネットワーク（ASN）に関わる技術支援を行います。

「教育の情報化」支援

学習者用コンピュータやICT機器の活用法など、教育の情報化に関わる技術を提供しています。



学習者用コンピュータの活用



ICT機器に関する技術支援

教育情報の提供

「研究指定校の取組み」・「授業改善」・「WEB授業動画配信」など、授業で役立つ情報を提供しています。

「教育情報の提供」については、当センタートップページの「学校教育全般に役立つ情報」からご覧いただくことができます。



総合学校教育センタートップページより

情報通信ネットワークの活用推進

青森県教育ネットワーク（ASN）に関するサービスや技術を提供しています。

メーリングリスト

電子メールの一斉配信システムです。教育研究会、文化・スポーツ団体等、教育活動の意見交換の場として利用できます。



ASN青森県教育ネットワーク
トップページより

7 広報に関すること

県内外の最新の情報やセンターの研修講座、研究成果に関する情報等を広く県民に周知し理解を図ります。

○センターの業務や研修講座等の紹介について、Webページ、刊行物、メール配信等で情報を発信します。

○授業に活用できる情報を提供します。

○情報の即時性と適時性をキーワードに、情報発信の工夫改善に努めます。

- ・「センターだより」をWebページ上で発行
- ・「研修講座等」をWebページで公開
- ・「開催した講座の様子」をWebページで公開
- ・要覧の発行
- ・「青森県総合学校教育センターInformation」の発行
- ・リーフレットの配布「教育相談のご案内」「教育相談・適応指導のご案内」
- ・メール配信を活用した各種情報提供
- ・「青森県総合学校教育センターセミナー」の開催
- ・「教育広報あおもりけん」、「広報あおもりけん」等の広報誌へ記事提供

センターだより 第70号

令和5年3月10日 発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター
〒980-0121 青森県青森市大町1-2
TEL 7-768-199 FAX 017-728-6351

来年度予定されている新規講座の紹介

**D20
特別支援学校
授業力アップ講座**

特別支援学校採用3年以内の先生を対象に、PbAサイクルによる授業改善を行い、授業力アップを目指します。受講者のニーズに応じて、担当指導主事が実践をサポートします。

【講師】 ※前期のみ
弘前大学教育学部
准教授 天海 丈久 氏

【次のような先生方にオススメ！】
○授業づくりで悩んでいる先生
○自分の授業実践を実践研究としてまとめたいと考えている先生
○研究会等で発表に向けて実践をまとめたいと考えている先生
○中堅教諭等資質向上研修の選択講座で迷っている先生

**D32・D33
NetCommons
活用講座**

本講座は、県立学校の先生方を対象とし、NetCommons 3を活用した学校ページの作成方法について研修を行います。CMS（コンテンツ管理システム）を使用することにより、Webページの構築・運用を複数人で行えるため、非常に効率的であり、リアルタイムな情報発信に役立ちます。令和5年度は6月、10月の2回講座を実施しますので、奮ってご参加ください。

【次のような先生方にオススメ！】
○NetCommons 2からの移行予定の管理者
○新規にNetCommons 3でページ運営を始めようとお考えの管理者
○学校Webページの担当になり操作方法に不安を抱えている方

**D35
幼保小連携
基礎講座**

午前は、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、特別支援学校（幼稚園、小・学部）の先生方を対象に、アブローチカリキュラムを視点にした保育参観を行います。午後、文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官の横山真貴子氏を講師に迎え、給保小の架け橋プログラムの重要性を理解する講義を行います。また、幼児期と児童期をつなぐ架け橋の力関係を築いた協議を通して、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取組について研修し、指導力の向上を目指します。

【保育参観】
学校法人 青森教育学園 愛育幼稚園
【講師】
文部科学省初等中等教育局幼児教育課
幼児教育調査官 横山 真貴子 氏

11月10日（金）

掲載された新規講座を含むすべての研修講座の詳細については、3月1日付けで当センターホームページにアップしておりますので、そちらも御覧ください。

アブセくん

研修講座の実績

●研修区分別修了者数

【基本研修】	計
・初任者研修 （小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）	830名
・新規採用教員研修 （普通教諭、栄養教諭・学校栄養職員、事務職員、実習講師）	44名
・経験者研修 （フォローアップ研修、中堅前期研修、中堅後期研修、中堅後期研修）	827名
【職務研修】	計
・職務研修Ⅰ （校長研修、教務研修、県立学校事務系研修、教務主任研修他）	344名
・職務研修Ⅱ （中学校道徳指導者研修、校内研修担当者研修他）	187名
【専門研修】	計
・教科研修	567名
・教科外研修	789名

今年度は、157講座を開催しました。これらの講座に対するアンケート集計の結果、「内容は分りやすかったか」や「実践の参考になったか」について5段階評価の最高評価「5」と回答した受講者は8割おり、受講者にとって深い学びのある研修講座を提供できたと考えております。また、教科研修の早期の講座において、ICTを活用した学習等に取り組みました。

次年度は、令和の日本型学校教育の実現及び学校における働き方改革の推進を踏まえ、ICT等の効果的な活用に向けた研修講座を準備しております。皆様のお申し込みをお待ちしております。

校内研修等講師派遣事業の実績

派遣数 193件 受講者数 約4,100名
本事業を御活用いただき、ありがとうございました。

派遣校種・機関別内訳	テーマ別内訳（研修件数と上のもの）
小学校 54件	授業力向上と授業改善 78件
中学校 29件	授業におけるICT活用 33件
高等学校 39件	不登校への対応 17件
特別支援学校 10件	特別な配慮を必要とする児童生徒への支援 13件
教育機関 14件	授業のユニバーサルデザイン化 9件
研究会・協議会 47件	人間関係づくり（構成的グループ・メンタリングなど） 8件
	SOSの出し方教育 7件

アンケート結果（5段階評価平均値）2月17日時点
研修の満足度は高かった。 4.85
研修の内容は分かりやすかった。 4.91
実践するまで参考になった。 4.88

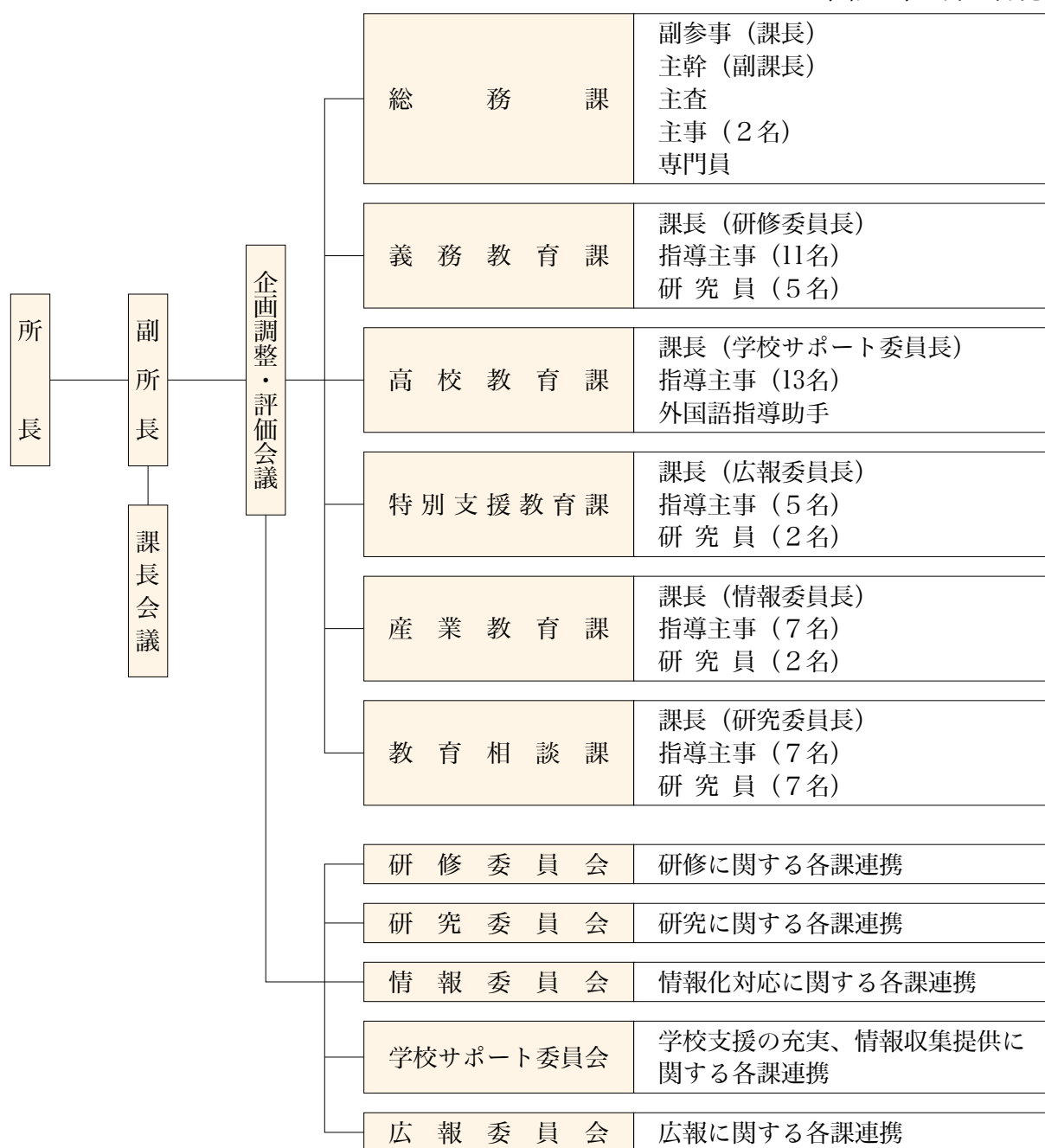
今年度は、「学習指導要領改訂を踏まえた〇〇科の授業づくり」、「指導と評価の一体化（観点別学習状況の評価）」、「授業におけるICTの効果的な活用方法」など、これからの授業づくりに欠かせない内容に関する研修への派遣数が多くなりました。また、教育相談や特別支援教育の分野では、「いじめを治さない学校づくりに必要な視点を得たい」、「困り感のある児童生徒を支援するための具体的な方法を学びたい」といった御要望をたくさんいただきました。実施後のアンケート結果から、校内研修等の目的を概ね達成できたと感じております。今年度と同様、来年度もオンラインによる実施が可能です。皆様からの御要望に応えられるよう準備を進めてまいりますので、積極的に御活用ください。

「センターだより第70号」（令和5年3月10日発行）

- 7 -

III 組織機構

令和5年4月1日現在



職員数

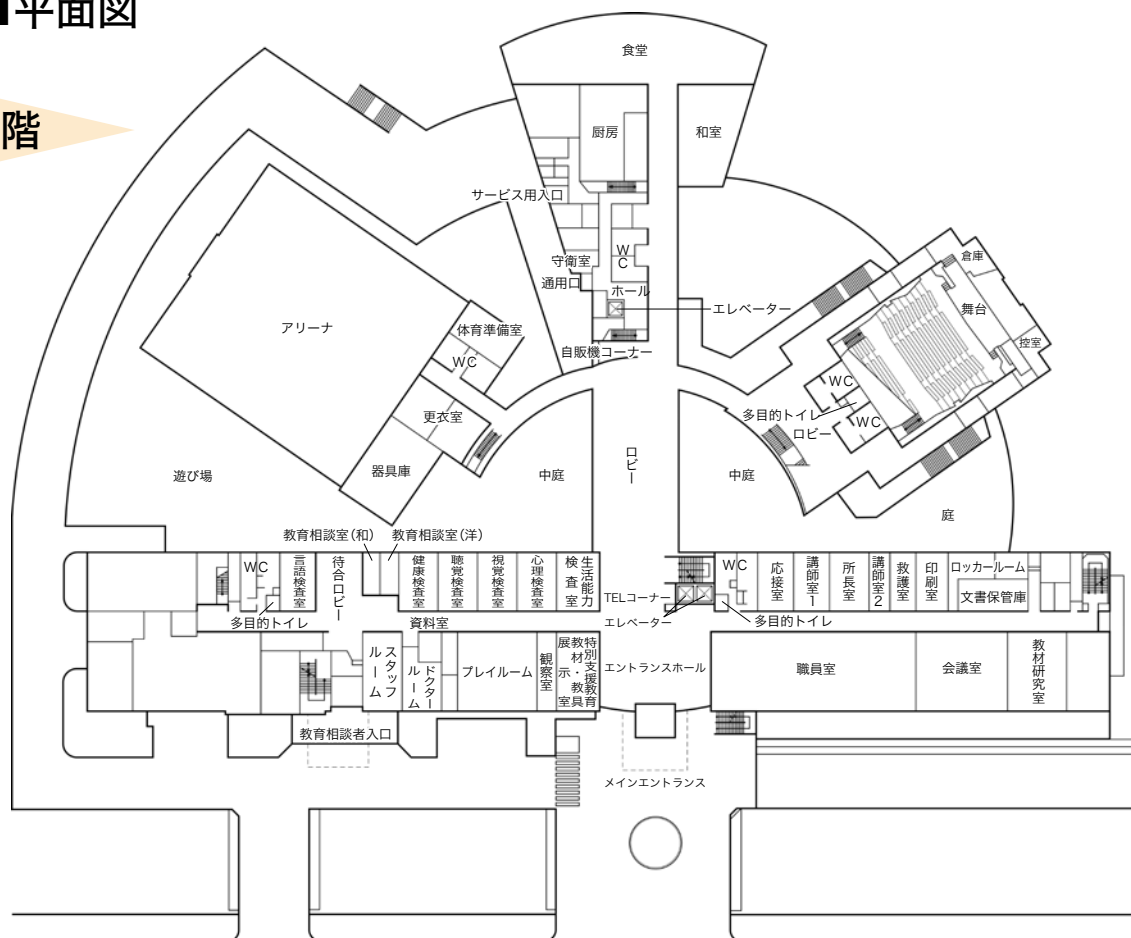
所長		副所長		課長		指導主事	会計年度* 任用職員	合計
1		1		6		43		
主幹	主査	主事	専門員	研究員	小計			
1	1	2	1	16	72		12	84

*会計年度任用職員・・・研修講座補助員2、非常勤事務員3、外国語指導助手1、教育相談補助員2
指導員3、不登校支援コーディネーター1

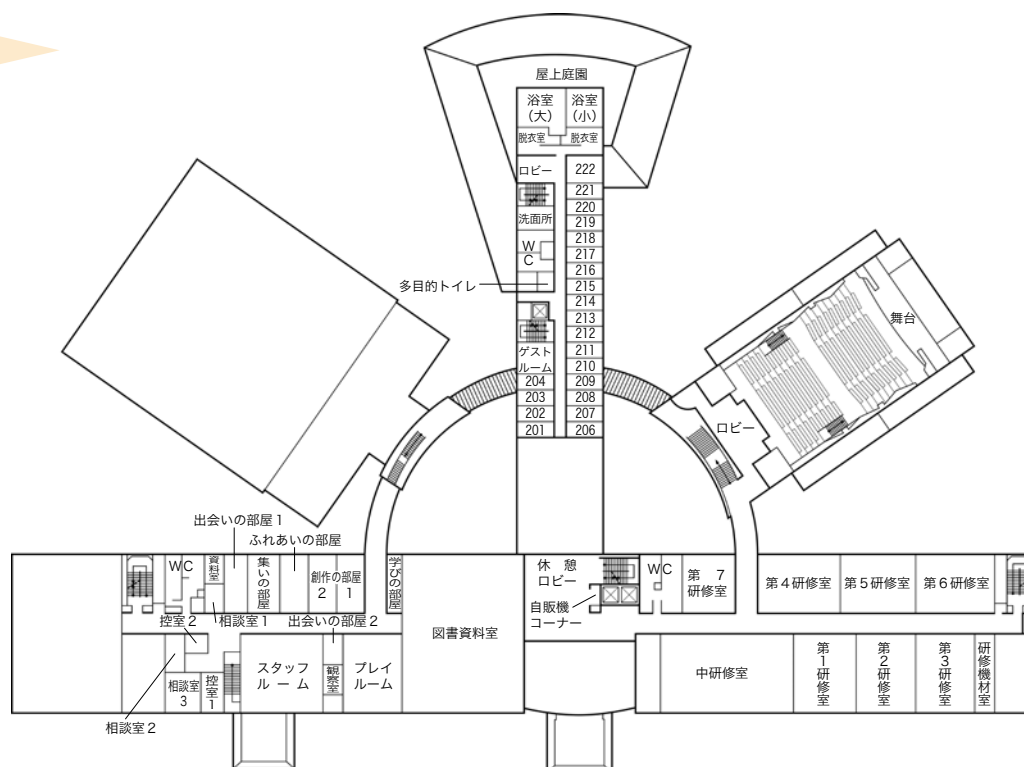
IV 施設の概要

■ 平面图

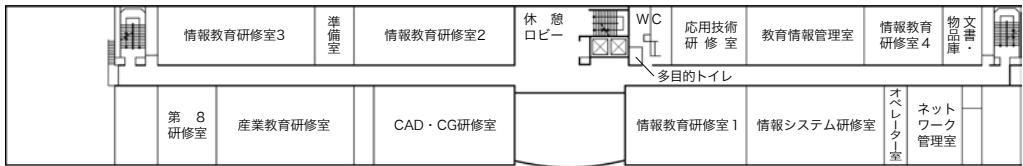
1 階



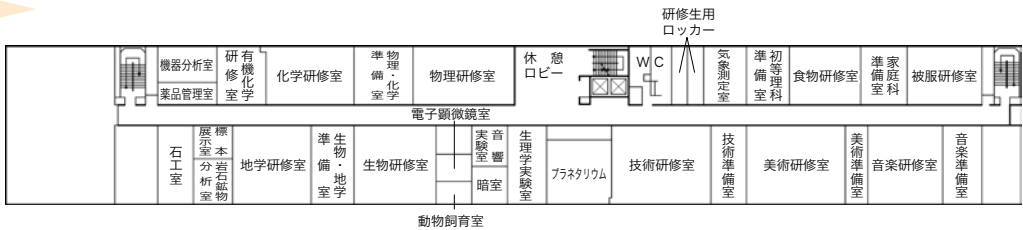
2階



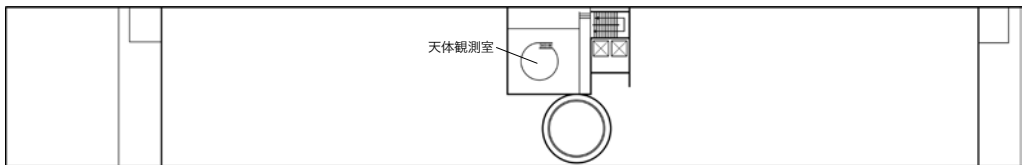
3階



4階

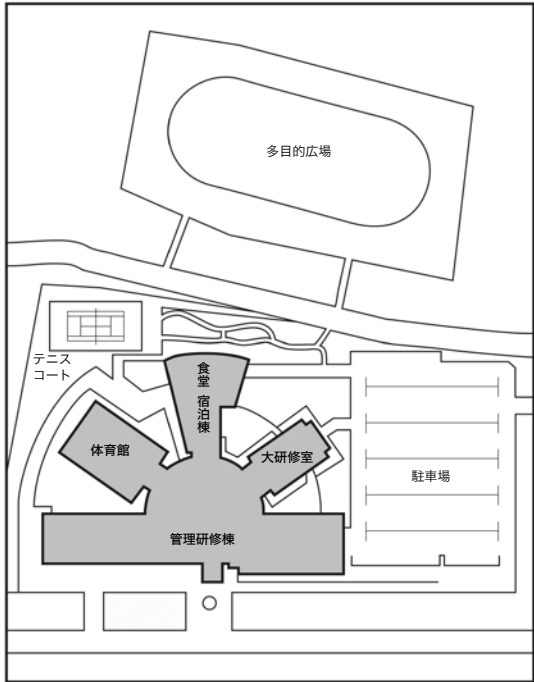


塔屋



配置図

管理研修棟				
屋上				
塔屋	天体観測室	食堂 宿泊棟		
4階	音楽・美術・技術・家庭研修室 物理・化学・生物・地学研修室 プラネタリウム	宿泊室		
3階	第8研修室 情報教育研修室1・2・3・4 CAD・CG研修室 産業教育研修室 情報システム研修室 教育情報管理室等			
2階	中研修室・第1～7研修室 図書資料室 学びの部屋・集いの部屋等			
1階	職員室・会議室 プレイルーム 生活能力検査室等	食堂	アリーナ	大研修室
ピロティ	駐車場			



V 治 革

青森県教育研究所	青森県理科教育センター	昭25. 7 青森県教育研究所を青森県立図書館内に設置（初代所長 横山武夫教育次長）	青森県情報処理教育センター	昭50. 4 青森県情報処理教育センターを青森市新城天田内に設置（初代所長 富谷郁逸）
		昭28. 4 青森県教育調査研究所と改称（日赤青森支部隣接地に移転）		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭32. 4 青森県教育片教育研究所と改称		
		昭37. 4 青森県教育研究所と改称（青森県立図書館内に移転）		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭39. 4 青森県理科教育センターを設置（青森県立図書館内）（初代所長 三上正章）		
		昭39. 11 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターを青森市大字筒井字桜川に移転		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭45. 4 青森県教育研究所及び青森県理科教育センターの統合により青森県教育センターを設置分課は、庶務課、第一研修課、第二研修課及び第三研修課（初代所長 工藤信一）		
		昭55. 3 青森県教育センター創立30周年・青森県理科教育センター15周年記念式典挙行		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭56. 4 第四研修課（別名特殊教育センター）を設置し、特殊教育部門を充実		
		昭63. 4 第一研修課、第二研修課及び第三研修課を統合して初等中等教育課を設置するとともに、第四研修課を特殊教育課と改称		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	平元. 11 青森県情報処理教育センターの汎用コンピュータとオンライン接続		
		平2. 7 第一研修室にパーソナルコンピュータ導入		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	平4. 10 青森県教育センター分館として青森市新城天田内にこころの教育相談センターを開設		
		平8. 1 教育用ソフトウェアライブラリセンターを開設		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭50. 4 青森県情報処理教育センターを青森市新城天田内に設置（初代所長 富谷郁逸）		
		昭50. 7 教職員研修開始		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	昭50. 9 生徒実習開始 宿泊棟竣工		
		昭56. 7 体育館竣工		
青森県教育センター	青森県理科教育センター	平3. 10 オンライン実習開始		

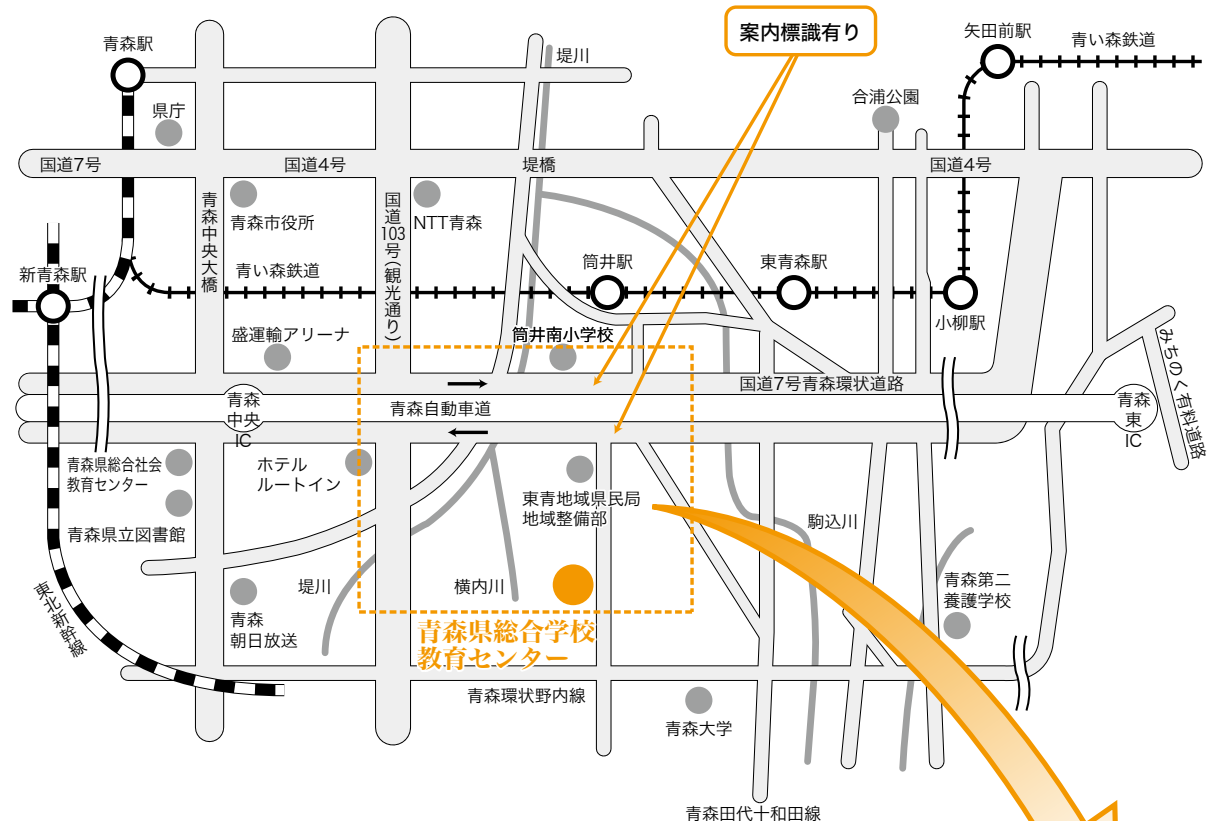
青森県総合学校教育センター	平4 青森県総合学校教育センター（仮称）建設基本構想策定	青森県総合学校教育センター	平4 青森県総合学校教育センター（仮称）建設基本構想策定
	平6 基本・実施設計委託、建設用地取得		
青森県総合学校教育センター	平7 本体工事着手		
	平8 多目的グラウンド等設計委託		
青森県総合学校教育センター	平9. 11 管理研修棟・大研修室棟・体育館・食堂宿泊棟竣工		
	平10. 4 青森県教育センター及び青森県情報処理教育センターを統合して、青森県総合学校教育センターを青森市大矢沢野田に設置（初代所長 平井軍治）		
青森県総合学校教育センター	平11 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会		
	平12. 10 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議		
青森県総合学校教育センター	平13. 4 特殊教育課を特別支援教育課と改称		
	平10 全国教育研究所連盟教育指導等研究協議会		
青森県総合学校教育センター	平15. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭部会		
	平16 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会		
青森県総合学校教育センター	平18. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会（青森市）		
	平22 5月・10月東北・北海道地区教育センター協議会		
青森県総合学校教育センター	平22. 10 東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会		
	平22. 11 全国適応指導教室連絡協議会東北・北海道地域会議		
青森県総合学校教育センター	平23. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 物理分科会		
	平28. 10 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会		
青森県総合学校教育センター	令2. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会及び研究発表会 技術・家庭科分科会		
	令4. 3 全国特別支援教育センター協議会研究協議会		
青森県総合学校教育センター	令4. 10 管理研修棟・大研修室棟・食堂宿泊棟・体育館棟外部改修工事終了		
	令4. 10 全国適応指導教室教育支援センター等連絡協議会北海道・東北地域会議		
青森県総合学校教育センター	令4. 11 東北・北海道地区教育センター協議会及び東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会		
	令4. 11 車路改修工事終了		

連 絡 先

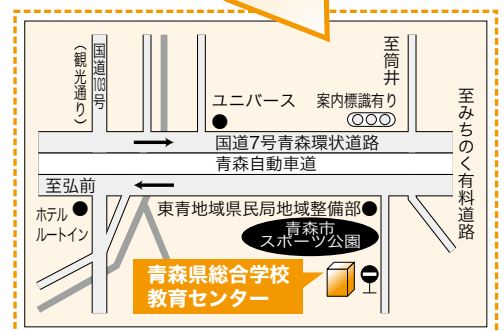
〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2
 TEL 017-764-1997(代) FAX 017-728-6351
 URL <http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

総務課	直通	017-764-1997	義務教育課	直通	017-764-1996
高校教育課	直通	017-764-1995	産業教育課	直通	017-764-1994
特別支援教育課	直通	017-764-1993	相談申込・お問い合わせ		
	FAX	017-764-1992		017-728-5575 (教育相談課)	
教育相談課	直通	017-764-1990		(こころの教育相談センター〈適応指導教室〉)	
	FAX	017-764-1989		017-764-1991 (特別支援教育課)	

交通の御案内



- 青森市営バス
青森駅発「学校教育センター」行きの終点で下車
- タクシー
「東青地域県民局地域整備部から青森市スポーツ公園を過ぎた、県総合学校教育センター」と指定
- 自家用車
国道7号青森環状道路に案内標識有り



“これからの社会を生き抜く力”を育む“教師力”の向上



中央で育つ花は子どもたち、花が育つ場は学校です。それらを取り囲む教師集団は、互いに連携・協働しながら教育活動に取り組んでいます。また、暖かな色合いで学校を包み込んでいるのは県総合学校教育センター等の関係機関や家庭・地域社会で、教育活動を支える様子を表しています。

舞い上がる花の色は、学校教育全体を通して育成される新しい時代に求められる資質・能力を表し、舞い上がる花は、子どもたちが自立し社会参加へ向かう様子を表しています。